

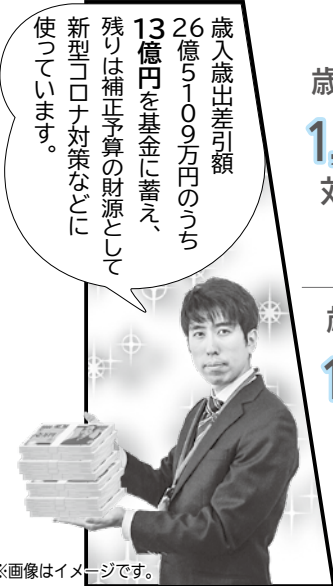
ちよっと皆さん、
いいですか？

青森市の財政状況

です。

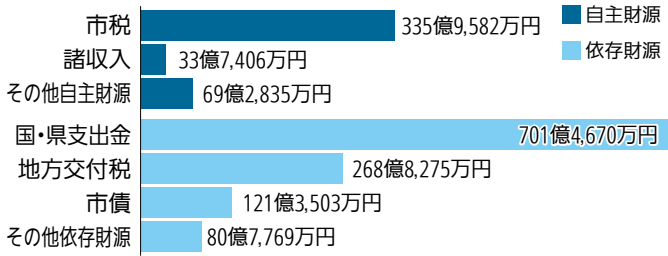
問 財政課 (☎ 017-734-5187)

青森市の令和2年度の 決算がまとまりました

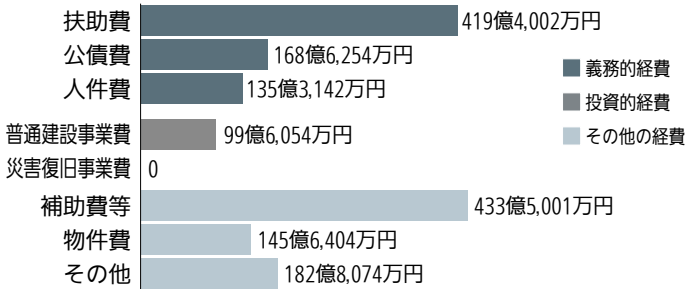


一般会計

歳入合計
1,611億4,040万円
対前年度 22.7% 増



歳出合計
1,584億8,931万円
対前年度 23.6% 増



企業会計





会計名	区分	収入	支出
病院事業	収益的	115億2,188万円	115億1,268万円
	資本的	18億6,828万円	22億3,483万円
下水道事業	収益的	84億4,319万円	87億609万円
	資本的	59億2,517万円	87億8,085万円
農業集落排水事業	収益的	4億5万円	3億8,434万円
	資本的	1億3,165万円	2億6,404万円
水道事業	収益的	59億7,628万円	57億4,669万円
	資本的	7億3,200万円	37億1,557万円
自動車運送事業	収益的	21億1,215万円	23億6,272万円
	資本的	5億7,938万円	5億7,911万円

特別会計

会計名	歳入	歳出
競輪事業	207億713万円	203億3,305万円
国民健康保険事業	273億7,004万円	273億146万円
宅地造成事業	7,316万円	5,940万円
卸売市場事業	10億3,437万円	10億2,303万円
介護保険事業	302億2,210万円	299億565万円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1億2,807万円	3,945万円
後期高齢者医療	37億1,394万円	36億4,826万円
駐車場事業	2億9,987万円	2億8,402万円

※収支不足額は、それぞれ消費税及び地方消費税資本的
収支調整額などの内部留保資金などで補てんしました。

市民1人当たりに使われたお金 57万3,532円

 高齢者や障がい者、子ども福祉など 民生費 20万7,146円	公園、道路、河川の整備など 土木費 5万9,030円
 コロナ特例給付金、窓口業務、選挙など 総務費 13万4,838円	学校教育や社会教育など 教育費 4万4,761円
 保健、医療、コロナ感染防止対策、し尿処理など 衛生費 2万5,677円	商工業の振興、コロナ経済対策など 商工費 1万5,600円
 市債(市の借入金)の返済 公債費 6万1,021円	消防、救急、農林水産業の振興、議会、雇用対策など その他 2万5,458円

各会計の決算額をみました。さらに、

何の目的に使われたのか、市民一人当たりで表してみます。

市民一人当たりでは、いくら使われたの？



一般会計の歳入を青森市の人口で割ると……!



※令和3年4月1日時点の人口276,339人で計算。
 ※端数処理の関係で各項目の計は「市民1人当たりに使われたお金」と一致しません。

今後、経営改善に向けた取組を強化していく必要があります!

病院事業会計と自動車運送事業会計において資金不足が発生しています。




しかし、

5つの財政指標による財政健全度のチェック

令和2年度決算を基に、法律に基づく財政指標の健全度をチェックしました。

いずれの指標とも国の基準を下回り、指標上の問題はあります。

令和2年度 主要な施策の成果及び予算の執行実績に関する報告書 青森市



問題なし!

ピッ



(単位: %)

指標	内容	企業会計名	前年度	令和2年度	早期健全化基準	財政再生基準
					11.25	20.00
① 実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合。比率が大きいほど財政状況が悪化していることを示します。		赤字なし	赤字なし		
② 連結実質赤字比率	全会計の赤字の割合。比率が大きいほど財政状況が悪化していることを示します。		赤字なし	赤字なし	16.25	30.00
③ 実質公債費比率	市の標準的な年間収入に対する借金返済額の割合。比率が大きいほど借金返済に財政が圧迫されていることを示します。		15.0	14.2	25.0	35.0
④ 将来負担比率	市の標準的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債の割合。比率が大きいほど将来財政を圧迫する可能性が高いことを示します。		93.6	89.3	350.0	—
⑤ 資金不足比率	各公営企業の手持ちの資金等の不足額が営業収益に占める割合。比率が大きいほど経営状況が悪化していることを示します。	病院事業	17.4	11.7	経営健全化基準 20.0	
		下水道事業	—	資金不足なし		
		農業集落排水事業	—	資金不足なし		
		水道事業	資金不足なし	資金不足なし		
		自動車運送事業	9.9	9.9		

青森市の財政運営にご理解とご協力を

実質公債費比率(借入金の返済額が収入に占める割合)がピークとなる平成29年度の15.2%から1.0ポイント減少するとともに、将来負担比率(将来負担する負債額が収入に占める割合)が同時期の104.3%から15.0ポイント減少するなど、青森市の財政は着実に健全化しています。

しかし、実質公債費比率は中核市平均(令和元年度平均6.1%)と比べ依然高い水準にあります。

新型コロナウイルスという百年に一度の感染症の影響による市税収入の落ち込みなど厳しい財政環境にあります。都市間競争の基盤となる持続可能な財政運営を行うためには、社会の変化に応じて、不断の事業見直しが必要不可欠です。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。